



平成 22 年 5 月 24 日

各 位

会 社 名 日 本 曹 達 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 杵 淵 裕  
 (コード番号4041 東証第一部)  
 問 合 せ 先 総 務 部 長 山 本 聡  
 (TEL 03-3245-6053)

## 中期経営計画（長期経営ビジョン）について

今般、当社は中期経営計画（2010 年度～2012 年度）を策定いたしました。策定に際しては、10 年後（2020 年）の創業 100 周年を見据えた長期経営ビジョン【Chemigress To 100】の達成を目指し、中期経営計画をその第一ステップとして位置付けます。以下に長期経営ビジョン及び中期経営計画の概要をお知らせいたします。

※【Chemigress】とは、Chemical と Progress からなる造語で、「創業 100 周年に向け、当社グループの生み出す化学を中心とする事業によって、健全な社会の発展に寄与したい」という思いを伝えるものです。

### I. 前中期経営計画（2007 年度～2009 年度）総括

前中期経営計画では、事業拡充のための経営基盤構築期間と位置付け、必要な経営資源を積極的に投入してまいりました。

具体的には、新たな研究施設「加工技術センター」「中規模実験設備」を建設したほか、農薬殺菌剤の自社生産化を実施いたしました。また、芝用新除草剤、生物農薬の上市や殺虫剤の事業譲渡を受ける等ポートフォリオの充実に努めました。一方、飼料添加物については、中長期的な国際競争力の観点から、国内からの事業撤退を決断・実施し、事業の選択と集中も図りました。その結果、経常利益・当期純利益は、海外持分法適用会社の好決算もあり、目標を上回る事ができました。

しかしながら、2008 年 9 月のリーマンショック以降続いた世界経済の停滞や円高といった経営環境の激変に加え、電子材料等の新規事業開発の遅れもあり、売上高・営業利益については目標数値には届かず、次期経営計画の課題として残されました。

・2009 年度収支（連結） (単位：億円)

	前中期計画目標	実 績
売 上 高	1,620	1,325
営 業 利 益	110	53
経 常 利 益	110	129
当 期 純 利 益	60	86
R O A *	6%以上	3.1%

\*総資産営業利益率

## II. Chemigress To 100 (長期経営ビジョン) - 10年後 (2020年) を見据えて

### 1) 目指すべき姿

1. 農業・医療・環境・情報といった健全な社会の発展に欠かせない事業分野を中心に展開し、有用な新しい製品や事業を継続的かつ安全に提供することで、幅広く社会貢献を行う。
2. 地球環境と CSR に配慮する化学を中心とした事業グループとして、国際化社会における存在感と必要性を高める。
3. チャレンジ精神に溢れ、グローバル競争に勝てる企業集団を形成し、グループ全体の企業価値を総合的に高め、大きく飛躍する。

### 2) 数値目標 (連結)

2020年目標 営業利益 200億円※ (当期純利益 100億円)  
※内、100億円は新規事業(製品)による。

### 3) 経営戦略 - 数値目標達成に向けて

#### 1. 成長事業の育成・展開 (主要ドメインへの傾注による価値の創造)

【ドメイン】	【主体となる事業】	【研究プラットフォーム】
農業 (食糧)	アグリビジネス	農薬創生
医療 (健康)	医薬品事業	精密有機合成
環境 (生活)	環境化学品事業	機能材料創生
情報 (先端)	機能性化学品事業	機能材料創生・精密有機合成

自社技術育成とそれをベースとした事業展開と並行して、関連事業買収にも積極的に取り組み、今後10年内(～2020年)に、年間売上高400億円規模の新規製品(事業)を創出する。

そのための新規製品(事業)開発投資として、1,000億円程度(新規設備投資・M&A資金含む)を充当する。

#### 2. グローバル化への対応

- ・差別化された製品、事業力の育成
- ・国際競争力のあるサプライチェーンの確立
- ・国際化社会に対応できる人材の育成

#### 3. 社会から真に求められる企業集団への変革

- ・安全を大前提に、地球環境やCSRを意識した経営の実践

### Ⅲ. 中期経営計画（2010年度～2012年度）－長期目標達成のために

#### 1) 基本方針

1. 創業100周年に向けて、本中期経営計画を「Chemigress To 100（長期経営ビジョン）」達成のためのステップ（ステージⅠ）と位置付け、停滞から成長曲線への軌道化を図る。
2. 既存・周辺事業の拡充を機軸に選択と集中を進める中で、新たな成長ドライバーを育成するために、必要な経営資源を積極的に投入する。

#### 2) 数値計画・目標（連結）

（単位：億円）

	2010年度計画	2012年度目標	2020年目標 【参考】
売上高	1,290	1,500	2,000
営業利益	33	70	200
経常利益	84	80	
当期純利益	65	50	100

#### 3) 重点施策

##### 1. 成長ドライバーの育成

- ① 化学品分野
  - ・特色ある既存製品群の拡充と周辺事業分野の開発促進及び事業化（顕色剤・セルロース誘導体・高分子・包接触媒等）
- ② 農業化学品分野
  - ・新規農薬（共同・自社）のフェーズアップと早期上市
  - ・新たな買収案件への積極的対応
  - ・特色ある製品の戦略的拡大  
（緑化事業・バイオサイド事業・生物農薬）
- ③ 新規事業
  - ・加工技術センター、中規模実験設備の活用による新たな機能材料・医農薬中間体等の開発促進（事業化）

##### 2. 国際競争力強化

- ① 化学品分野
  - ・機能性化学品事業の生産体制拡充及び海外展開の積極的推進
  - ・電解・環境化学品等の収益改善（競争力強化）
- ② 農業化学品分野
  - ・基幹剤の生産・販売体制のグローバル化推進

##### 3. 経営基盤の整備

- ・グローバル化に向けた体制整備、業務効率改善、人材育成、社会的責任への対応強化

##### 4. グループ結集・強化

- ・グループ各社との連携強化によるグループ資源の最大活用

以上